

CONTENTS

“K” LINEの全体像

- 1 企業理念・ビジョン
- 2 “K” LINEスピリット
- 4 データで見る“K” LINE

価値創造の戦略

- 6 CEOメッセージ
- 12 経営計画：企業価値向上に向けて
- 18 財務・ESGハイライト
- 20 CFOメッセージ
- 24 特集：新たな価値の提供
 - 24 社員座談会
海上輸送の環境負荷低減・安全向上を実現する
イノベーションへの挑戦
 - 28 脱炭素化への取り組みと成長市場の開拓
 - 30 デジタル技術で高度化する安全・環境・品質

価値創造の基盤

- 32 経営戦略とESG・CSRマネジメント
- 34 安全運航
- 36 気候変動シナリオ分析
- 38 “K” LINE 環境ビジョン2050の戦略
- 40 人材マネジメントの基本方針
- 44 コーポレートガバナンス
持続的成長と企業価値向上に向けて
- 52 責任ある企業行動の実践
- 53 コンプライアンス
- 54 リスクマネジメント

価値創造の最前線

- 56 At a Glance
- 58 事業概況
 - 58 ドライバルク
 - 60 エネルギー資源
 - 60 油槽船事業／燃料事業
 - 62 電力事業／海洋事業
 - 64 LNG船事業／カーボンニュートラル推進事業
- 66 製品物流
 - 66 自動車船事業
 - 68 物流・港湾事業
 - 70 近海・内航事業
 - 71 コンテナ船事業

財務情報／企業情報

- 72 11年間の財務・ESGデータ
- 74 経営成績の分析
- 76 連結財務諸表
- 80 組織図
- 81 事業拠点
- 82 主要連結子会社および関連会社
- 84 会社概要／株式情報

▶ 本レポートについて

編集方針

川崎汽船（“K” LINE）グループは、世界の海上輸送ニーズに適応したさまざまなタイプの船隊を保有・運航し、陸上輸送や倉庫事業も展開する総合物流企業グループです。“K” LINEグループでは、独自の企業価値のシンボルとして「**K** Value（ケイラインバリュー）」を定めています。“K” LINE REPORTでは、この **K** Valueについて、幅広いステークホルダーを対象に財務・非財務情報の両面から説明しています。なお、それぞれの取り組みの詳細については、当社ウェブサイト（www.kline.co.jp）を併せてご覧ください。

対象期間

2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）
ただし、一部2021年4月以降の情報を含みます。

対象範囲

原則として川崎汽船株式会社と関係会社を対象としています。活動やデータについて範囲を限定する場合は、本レポート中に注記しています。

参考にしたガイドライン

- IIRC「国際統合報告フレームワーク」
- ISO 26000
- 環境省「環境報告ガイドライン（2018年版）」
- 経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」

見通しに関する注意事項

本レポートに記載されている当社の計画、戦略と将来の業績につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断したものであり、リスクや不確定要素が含まれています。従いまして、実際の業績は事業を取りまく環境の変化などにより、当社の見通しと異なる可能性があります。

企業理念・ビジョン

“K” LINEグループは、世界の経済活動を支える物流インフラの基盤である海運業において、安全・安心な海上輸送および物流サービスを提供することで、お客さまからの信頼を獲得してきました。

当社グループは、海運業を母体とする総合物流企業グループとして、人々の豊かな暮らしに貢献することを企業理念に謳っています。

この理念の下、当社グループ独自の企業価値である **K** Value（ケイラインバリュー）をさらに向上させていきます。

企業理念

～グローバルに信頼される **K**～

海運業を母体とする総合物流企業グループとして、人々の豊かな暮らしに貢献します。

私たちは、どのような場合においても自らの存在理由を認識して事業活動を行ってまいります。

ビジョン

お客さまを第一に考えた高いレベルの物流サービスを提供することで、重要なパートナーとして選ばれ続け、グローバル社会の重要なインフラとして信頼されることを目指します。

“K” LINEグループが大事にする価値観

安全で最適な
サービス
社会への貢献

公正な事業活動
社会からの信頼

変革への
飽くなきチャレンジ
新たな価値の創造

人間性の尊重
個性と多様性を尊重する
企業風土



1919年の設立以来、当社の組織文化として受け継がれてきた
“K” LINEスピリット ―「自主独立」「自由闊達」「進取の気性」は、
時代の変化や逆境を乗り越える原動力となりました。
今日も、既存の枠組みを越える柔軟な発想や、新たな価値の創造への挑戦に、
“K” LINEスピリットは表れています。
当社は、今後も“K” LINEスピリットを発揮し続けることで、
グローバル社会の要請やお客さまニーズの変化をとらえ、
持続的な成長を実現します。

“K”
LINEの
全体像

—自主独立・自由闊達・進取の気性—

“K” LINE SPIRIT



上段画像 : LNG燃料自動車専用船
「CENTURY HIGHWAY GREEN」
下段左画像 : 創業時に建造中のストックポート(1918年)
下段右画像 : 乗船勤務中の海上従業員

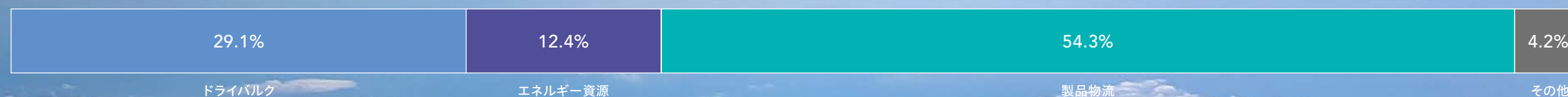
データで見る“K” LINE



“K” LINEグループは、ドライバルク、エネルギー資源、自動車船、物流・近海内航の「自営事業4本柱」を中心とした事業に加え、コンテナ船事業を展開し、海運業を母体とする総合物流企業グループとして、海運業界のなかでも有数のポジションを築いています。世界47拠点と世界中を運航する船で働く多様な人材が、安全で品質の高い海上輸送と物流サービスを提供し、人々の豊かな暮らしに貢献するという企業理念を追求していきます。

2020年度
連結売上高

6,255 億円



グループ運航船舶隻数
(2021年3月末)

442 隻



ドライバルク船

運航船腹量

世界 第6位*1

LNG船

運航隻数

世界 第5位*2

自動車船

運航隻数

世界 第5位*3

コンテナ船

ONE運航船腹量

世界 第6位*4

*1 出典：Clarksons(2021年7月時点、保有船および一部傭船含む)
*2 各社公表データを基に当社作成(2021年7月時点)
*3 Hennes Shipping “AS Year Report”をベースに当社作成(2021年5月時点)
*4 出典：Alphaliner(2021年6月時点)